

# 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科

一般選抜・社会人特別選抜 夏期日程

博士後期課程 学生募集要項

2026 年度 10 月入学

2027 年度 4 月入学



# 目 次

《アドミッションポリシー》 2027年4月入学者	1
1. 実施日程	4
2. 募集人員	4
3. 出願資格	5
4. 出願手続	6
5. 選考方法および試験科目	9
6. 試験会場	11
7. 受験上の注意	11
8. 合格発表	11
9. 入学手続	12
10. 入学に関する経費	12
11. 授業料	12
12. 長期履修学生制度	13
13. 安全保障輸出管理について	13
14. その他	13
《授業科目の概要》 2027年4月入学者	14
《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》	16
環境システム専攻	17
【資源化学システムコース】	17
【生命工学コース（バイオシステムコース）】	18
【環境生態システムコース】	18
環境工学専攻	19
【機械システムコース】	19
【建築デザインコース】	20
情報工学専攻	21
【計算機科学コース】	21
【融合システムコース】	21
《アドミッションポリシー》 2026年10月入学者	22
《授業科目の概要》 2026年10月入学者	25

# 《アドミッションポリシー》 2027年4月入学者

※2026年10月入学者は22ページ以降参照

## ●環境システム専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
資源化学システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に関心を持ち、化学・環境技術者・研究者として世界をリードすることを目指している人</li> <li>○革新的な新技術や新たな理論を開発・構築することを目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高度な化学・環境工学を研究する上で十分な知識を有している。</li> <li>○エネルギー・環境・資源に関する諸問題を解決するための明確なビジョンを有している。</li> <li>○高度な学術論文の執筆や専門家と討議するための十分な語学力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題の本質を見抜き、その重要度・緊急性に応じて、高度な見地から解決策を講じる優先順位を判断する力を身につけている。</li> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題への解決策を、高度な見地から、論理的に複数の可能性を考慮した上で導き、それを他者に明確に伝える力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に強い関心を持ち、多角的・総合的な視点とともに主体的に研究する意欲と周囲を導く行動力を持っている。</li> <li>○自己の専門・非専門を問わず、他者との協議・討論を通して課題解決の手法を複数見出し、協働を通して課題解決に導く力を身につけている。</li> </ul>
生命工学 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>○化学と生物学を基盤とした、医療・生命・環境などに関する専門的かつ創造的・実践的知識の習得を目指している人</li> <li>○医療・生命・環境などの分野における国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた科学者、研究者、教育者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康、環境や生態系に配慮しながら技術開発を進める専門的知識・技能を有し、それを洗練させる上で重要な幅広い知識も習得している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療・生命・環境などの分野における様々な問題の本質を見抜く思考・判断力を有し、さらに研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する能力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療・生命・環境などの分野における諸問題に対して、国内外の研究者との積極的な議論を通して、課題解決を図る姿勢を有している。</li> </ul>
環境生態システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域やアジア諸国をはじめとする発展途上国における環境社会システム構築のために活躍できる研究者および教育者を目指している人</li> <li>○持続可能な社会構築のためより高度な専門的知識の習得を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境調査、環境計画、生態系管理の基礎となる自然科学および数理分野の専門的学力を有し、環境社会や自然共生社会の発展をリードできる創造的・実践的知識の素養を持っている。</li> <li>○社会・環境フィールド調査、環境シミュレーション、環境マネジメントに関わる専門的スキル・手法を使って、自立して問題を解決する能力の素養を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現実の環境問題に柔軟に対応し、国際環境社会の中で広い視野をもって高度な学術研究の立場から問題に対処できる思考力と判断力の素養を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題に関わる資源、エネルギー、自然生態系、経済、経営などの分野にも広い関心を持ち、高度な見地から先端的な実践する素養を持っている。</li> <li>○学会や企業、行政など関係する機関と協力して先進的、国際的な環境問題の解決に自律的に取り組む素養を持っている。</li> </ul>

※バイオシステムコースは、2027年4月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

## ●環境工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
機械システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えるとともに、高度な機械システム技術を活用しながら、国際的・学際的に活躍できる研究者および教育者を目指している人</li> <li>○機械工学に関する高度な専門性を活用する努力をいとわない人</li> <li>○創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学分野の専門的な知識および技術を修得しており、より高度な専門性を身につけるための学力と適性を有している。</li> <li>○機械研究者・教育者に必要な基本的な教養と倫理観を身につけている。</li> <li>○日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学の課題を高度な見地から論理的に思考、判断して解決するための能力を持ち、自分の考えや課題の検討結果などを他者に的確に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学に関する課題に対し、高度な見地から主体性を持って多様な人々と協働して取り組むことができる。</li> </ul>
建築デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未来へ繋がる建築を実現できる高度な専門知識と国際的な場で活躍できる高い能力の習得を目指している人</li> <li>○技術の分かるデザイナー、デザインの分かる高度専門職業人および特に研究者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として理解し、総合的な視点から建築学の本質を理解し、その高度専門知識を持っている。</li> <li>○建築を安全にする能力、快適な空間を提供する能力、芸術性を表現する能力、クライアントに自分の提案を表現する能力等、高度建築技術者に必要な種々の能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築学における社会的事象に対して国際的視点から課題を抽出して、その解決のための自らの思考・判断のプロセスを説明し、それを学会、国際会議、修士論文発表を通して研究発表できる能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や組織の中で他者と協力して計画的にプロジェクトをまとめ、修士論文、作品などを完成させる能力を有すると共に、環境との調和を考慮して、技術者の倫理観に基づく問題解決の意欲、態度を持っている。</li> </ul>

●情報工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
計算機科学	<p>○人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する高度な専門知識と技能の活用を目指している人</p> <p>○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた指導的な研究者、技術者および教育者を目指している人</p>	<p>○情報系工学に関する総合的な専門知識を有し、人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する専門知識を有している。</p> <p>○情報化社会の要請に応じ、計算機科学の応用分野である情報ネットワーク、画像処理等の主要なシステムを設計し、実装する技能を持っている。</p>	<p>○人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する課題について、解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、これらの過程を学術論文としてまとめて発表する能力を持っている。</p>	<p>○人工知能、画像処理、制御理論、情報ネットワーク、情報セキュリティ、および、データサイエンスに関する分野において、地域社会や組織の中で他者と効果的なコミュニケーションをとり、社会的責任感と倫理観に基づき、自律的に問題解決に取り組む行動力を持っている。</p>
融合システム	<p>○人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらの融合したシステムに関する高度な専門知識と技能の活用を目指している人</p> <p>○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた指導的な研究者、技術者および教育者を目指している人</p>	<p>○情報系工学に関する総合的な専門知識を有し、人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらの融合したシステムに関する専門知識を有している。</p> <p>○情報化社会の要請に応じ、電子・情報・制御の融合分野においてロボット等の主要なシステムを設計し、実装する技能を持っている。</p>	<p>○人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらの融合したシステムに関する課題について、解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、これらの過程を学術論文としてまとめて発表する能力を持っている。</p>	<p>○人工知能、集積システム、ロボティクス、ソフトウェア、医用工学・生体情報処理、自然言語処理、および、データサイエンス、また、これらの融合したシステムに関する分野において、地域社会や組織の中で他者と効果的なコミュニケーションをとり、社会的責任感と倫理観に基づき、自律的に問題解決に取り組む行動力を持っている。</p>

## 1. 実施日程

出願期間	2026年7月17日(金)～7月24日(金)必着 ※出願資格の事前審査は2026年6月18日(木)必着
試験日	2026年8月25日(火)(試験開始時刻 午前10時00分)  集合時間: 午前9時40分  ※災害等で試験を予定どおりに実施できない場合は、試験日程の変更を行う可能性があります。試験日程の変更を行う場合は、本学のホームページにてお知らせします。  <a href="https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/env-info.html">https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/env-info.html</a>
試験会場	北九州市立大学 ひびきのキャンパス (北九州市若松区ひびきの1番1号)
合格発表日	2026年9月4日(金)



### 【オンライン試験について】

通常の試験科目に代えてオンラインによる口頭試問等を行うことがあります。詳細については、希望する研究指導教員にお問い合わせください。希望する指導教員についての相談は16ページの《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》を参照してください。

## 2. 募集人員

### ◆2026年10月入学

研究科名	専攻名	一般選抜	社会人特別選抜
国際環境工学研究科	環境システム専攻	若干名	若干名
	環境工学専攻	若干名	若干名
	情報工学専攻	若干名	若干名

### ◆2027年4月入学

研究科名	専攻名	一般選抜	社会人特別選抜
国際環境工学研究科	環境システム専攻	8名	若干名
	環境工学専攻	8名	若干名
	情報工学専攻	6名	若干名

### 《社会人の受入について》

国際環境工学研究科においては、職業上必要な新しい知識・技術を求める社会人や実社会で身につけた実践的な知識・技術を学際的に更に高めていくことを希望する社会人を受け入れるにあたり、夜間その他特定の時間又は時期においても授業・研究指導を行います。

### 3. 出願資格

#### ◆2026年10月入学

次の各号のいずれかに該当する者

ただし、社会人特別選抜については、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等（青年海外協力隊、NGO・NPO等における国際協力活動を含む）において、2026年9月30日までに2年以上の専門に関する勤務経験を有する者（現在在職していなくても過去に2年以上の勤務経験があれば可）に限る。

- (1) 修士の学位を有する者又は2026年9月30日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2026年9月30日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2026年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2026年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）※  
大学を卒業、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科委員会において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年9月30日までに24歳に達する者※

※出願資格（5）または（6）によって出願する場合は、事前に出願資格審査を行います。

#### ◆2027年4月入学

次の各号のいずれかに該当する者

ただし、社会人特別選抜については、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等（青年海外協力隊、NGO・NPO等における国際協力活動を含む）において、2027年3月31日までに2年以上の専門に関する勤務経験を有する者（現在在職していなくても過去に2年以上の勤務経験があれば可）に限る。

- (1) 修士の学位を有する者又は2027年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）※  
大学を卒業、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科委員会において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに24歳に達する者※

※出願資格（5）または（6）によって出願する場合は、事前に出願資格審査を行います。

## 【出願資格の事前審査について】 ※出願資格（5）または（6）に該当する者

本研究科委員会が行う出願資格審査は、出願前に個別に行います。出願資格（5）または（6）に該当する方は、以下の要領で必要書類を提出してください。ただし、提出前に必ず希望する研究指導教員と連絡をとってください。希望する研究指導教員についての相談は16ページの《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》を参照してください。

ア 提出書類 ※提出書類の説明は7ページの提出書類参照

- 出願資格審査申請書（Form 2）
- 研究領域等希望調査書（Form 1）
- 入学希望理由書（A4サイズ、様式自由）
- 最終学歴の成績証明書 ※  
※日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。
- これまでの業績や研究内容等を説明できるもの

イ 審査受付期間

2026年6月18日（木）まで

ウ 提出・問い合わせ先

北九州市立大学 事務局 学務課 入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

※日本在住の方：提出書類を窓口持参または郵送（速達簡易書留）にて、審査受付期間内に到着するように発送してください。

※海外在住の方：提出書類を審査受付期間内にEMS等にて発送してください。  
また、原本発送前に、PDF化した提出書類を審査受付期間内に学務課入学試験係へメールに添付して送信してください。

エ 審査結果の通知

本人にメールにて通知します。

## 4. 出願手続

日本在住の方は、提出書類を窓口持参または郵送（速達簡易書留）にて、出願期間内に到着するように発送してください。

海外在住の方は、提出書類を一括して封筒（各自で用意してください）に入れ、郵送（EMS等）により出願期間内に到着するように提出してください。また、原本発送（EMS等）前に、PDF化した提出書類を出願期間内に学務課入学試験係へメールに添付して送信してください。

出願前に必ず希望する研究指導教員と連絡をとってください。

希望する研究指導教員についての相談は16ページの《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》を参照してください。

(1) 出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。

出願登録等の手順は、本学ホームページから「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000円（別途、サービス利用料 900円）をお支払いください。

入学検定料の支払い手順は、「インターネット出願」サイトで確認してください。

(3) 出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類を提出してください。

(4) 出願期間等

出願期間	2026年7月17日(金)～7月24日(金) 必着
出願登録・検定料支払期間	2026年7月10日(金)～7月24日(金) 16:00

- (5) 受付時間(土曜、日曜、祝日を除く)  
 (窓口受付) 平日: 午前8時30分～午後4時00分(最終日は午後5時00分まで)  
 (郵送) 2026年7月25日(土)以降に郵送により到着したものについては、  
 2026年7月23日(木)までの消印があり、かつ速達簡易書留郵便の場合に  
 限り受理します。

- (6) 提出先 北九州市立大学事務局学務課入学試験係  
 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号  
 TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

(7) 提出書類

インターネット出願登録内容の印刷	
出願確認票	インターネット出願登録後、印刷したもの。 ※縦4cm×横3cmサイズ、上半身、無帽、無背景、正面向きで、出願前3ヵ月以内に撮影したカラー写真の裏面に氏名を記入の上、所定の欄にしっかり貼り付けてください。
写真票	インターネット出願登録後、印刷したものに写真を貼り付けてください。貼付写真については『出願確認票』の説明と同じです。
宛名ラベル	※郵送の場合のみ インターネット出願登録後、印刷したものを角形2号(角2)封筒に貼り付けてください。
その他必要書類	
研究領域等希望調査書(Form 1)	出願する前に、希望する研究指導教員と連絡をとってから作成してください。
入学希望理由書	A4サイズで1枚程度、様式自由。必ず氏名・志望専攻・コース名を記入してください。
出身大学院等の成績証明書	出身大学院または在籍している大学院等が発行した成績証明書を提出してください。 ※日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。
出願資格を証明する書類	出身大学院発行の修士課程修了証明書または修了見込証明書(または在学証明書)を提出してください。(原本または原本証明を提出) ※出身大学院発行の原本を提出できない場合は、代わりに原本から正しく複製されたものであることを出身大学院または大使館、公証役場などの公的機関が証明したものを提出してください。 ※日本語及び英語表記でない証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。
※外国籍の方のみ 住民票または パスポートの写し	日本国内在住者: 住民票の原本(コピー不可) (出願前1ヵ月以内に発行したもので、在留資格及び在留期間が記載されたもの) 海外在住者: パスポートの写し (顔写真及び有効期限が記載されたページ)

<p>※社会人特別選抜のみ 在職証明書</p>	<p>勤務先が発行したもの（様式任意） ※勤続経験 2 年以上であることが証明できるもの ※日本語または英語以外で記載されている在職証明書は、日本語または英語に翻訳したものを添付してください。</p>
-----------------------------	--

(注) 本学の博士前期課程、修士課程または専門職学位課程を修了する者で、引き続き本学の博士後期課程に進学する場合の入学検料は不要です。

### 【出願上の注意】

- ・ 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ・ 出願受付後は、いかなる事情があっても出願内容の変更及び入学検定料の返還には応じられません。
- ・ 虚偽の記載があった場合は、たとえ合格しても入学許可を取り消します。
- ・ いったん正当に受理した出願提出書類等は返却できません。
- ・ 出願資格要件を満たす見込みで受験し合格した者が、次の期間までに所定の要件を満たすことができなかつた場合は、入学許可を取り消します。

2026 年 10 月入学：2026 年 9 月 30 日まで

2027 年 4 月入学：2027 年 3 月 31 日まで

### 【受験票について】

- ・ 受験票印刷可能期間：2026 年 8 月 10 日（月）～2027 年 1 月 22 日（金）
- ・ 受験票は、印刷可能期間中インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。A4 サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。
- ・ 試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。
- ・ 受験票は、入学手続に必要ですので、大切に保管しておいてください。

### 【身体に障害を有する場合等の受験上の特別措置について】

身体に障害を有するなど、受験上及び就学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に相談のうえ出願 2 週間前までに必要書類を添えて申し出てください。審査の結果、必要と判断された措置の内容を通知しますので、その通知書を添えて出願してください。

《問い合わせ先》 北九州市立大学 事務局 学務課 入学試験係  
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号  
TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

### 【個人情報の取扱いについて】

本学が所有する個人情報は、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき適正に取扱い、以下の目的以外で利用すること、または第三者に提供することはありません。

- ・ 志願者の氏名、生年月日、連絡先などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- ・ 合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

## 5. 選考方法および試験科目

### 【選考方法】

試験科目結果、出願書類等を総合して行います。

なお、社会人特別選抜の選考については、社会人としての経歴・研究歴および研究内容を特に重視した選考を行います。

### 【試験科目】

#### ◆環境システム専攻

##### ○資源化学システムコース

##### 《一般選抜》《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間 (日本時間)
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注）	10：00～

（注）発表用データ（プレゼンテーション形式と PDF）を USB メモリと PC に入れて持参してください。

##### ○生命工学コース（バイオシステムコース）

バイオシステムコースは、2027年4月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

##### 《一般選抜》《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間 (日本時間)
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注）	10：00～

（注）発表用データ（プレゼンテーション形式と PDF）を USB メモリと PC に入れて持参してください。

##### ○環境生態システムコース

##### 《一般選抜》《社会人特別選抜》（注1）（注2）

試験科目	試験時間 (日本時間)
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注3）	10：00～

（注1）日本語ないし英語の語学能力を証明する書類を持っている人は、試験当日持参してください。（例：日本語能力試験のスコア、TOEIC(TOEIC L&R)スコア、TOEFL-iBTスコア等） ※必須ではありません。

（注2）志願者数によっては、面接開始時間に変更となる可能性があります。

（注3）発表用データ（プレゼンテーション形式と PDF）を USB メモリと PC に入れて持参してください。

## ◆環境工学専攻

### ○機械システムコース

#### 《一般選抜》

試験科目	試験時間 (日本時間)
口頭試問・面接（修士論文についての発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注）	10：00～

（注）発表用データ（プレゼンテーション形式と PDF）を USB メモリと PC に入れて持参してください。

#### 《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間 (日本時間)
口頭試問・面接（修士論文または過去の研究成果についての発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注）	10：00～

（注）発表用データ（プレゼンテーション形式と PDF）を USB メモリと PC に入れて持参してください。

### ○建築デザインコース

#### 《一般選抜》《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間 (日本時間)
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注）	10：00～

（注）発表用データ（プレゼンテーション形式と PDF）を USB メモリと PC に入れて持参してください。

## ◆情報工学専攻

### ○計算機科学コース

### ○融合システムコース

#### 《一般選抜》《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間 (日本時間)
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注）	10：00～

（注）発表用データ（プレゼンテーション形式と PDF）を USB メモリと PC に入れて持参してください。

## 6. 試験会場

北九州市立大学 ひびきのキャンパス（北九州市若松区ひびきの1番1号）

※主要交通機関：北九州市営バス、西鉄バス

● JR 折尾駅バス停より乗車（約20分）⇒ 学研都市ひびきのバス停下車



《オンライン試験の場合》

オンライン面接に関わる具体的な調整事項については、各コースの教員より、後日出願者に連絡します。

## 7. 受験上の注意

- (1) 受験には必ず受験票を持参してください(受験票は2026年8月10日(月)から印刷可能)。
- (2) 面接の遅刻は認めません。
- (3) 定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合は、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻、到着時刻等をあらかじめメモしておいてください。
- (4) 筆記具、腕時計（計算機能、翻訳機能、辞書機能等の多機能時計は厳禁）を持参してください。貸し出しは一切できません。
- (5) 自家用車での来場は固くお断りします。
- (6) 試験当日は、キャンパス内の案内表示に従ってご来場ください。

《オンライン試験の場合》

- (1) オンライン試験時、受験票の提示を求めます(受験票は2026年8月10日(月)から印刷可能)。
- (2) 試験開始20分前までにインターネットに接続できる状態にしておいてください。
- (3) 志願者数によっては、面接開始時間に変更となる可能性があります。

## 8. 合格発表

以下の日時に、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者のみに合格通知書を送付します。なお、受験者本人であっても、電話による可否に関する照会には一切応じられません。

合格発表日時	2026年9月4日(金)午前10時頃
合格発表場所	北九州市立大学ホームページ <a href="https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/pass-information.html">https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/pass-information.html</a>



## 9. 入学手続

入学手続に関する詳細については「合格通知」送付の際にお知らせします。

2026年10月入学者入学手続期間	2026年9月7日(月)～9月10日(木)
2027年4月入学者入学手続期間	2027年1月19日(火)～1月22日(金)

- (注1) いったん納入された入学金は、いかなる理由があっても返還できません。  
(注2) 期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学辞退として取扱います。  
理由のいかなを問わず、入学手続期間の延長は行いません。  
(注3) 期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。  
(注4) 入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。

## 10. 入学に関する経費

種 別	金 額 (注1)	備 考
入 学 金	北九州市内居住者 282,000 円	(注2)
	北九州市外居住者 423,000 円	
同 窓 会 費	50,000 円	本学卒業生で、既に納めている方は不要
後 援 会 費	30,000 円	(注3)
学生教育研究災害傷害保険料	3ヵ年分 2,600 円	
学研災付帯賠償責任保険料	3ヵ年分 1,020 円	

- (注1) 経費は現行(2026年度入学者)の金額です。変更されることがあります。  
(注2) 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者もしくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は、市民税非課税者)であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいいます。  
なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は、市民税非課税者)」であるためには、2026年10月入学者は2025年1月1日現在、2027年4月入学者は2026年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。  
※同窓会費・後援会費・保険料については、入学の必須条件ではありません。  
(注3) 本学の博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程在籍中に後援会費を納めた人が、引き続き本学の博士後期課程に入学する場合の後援会費は25,000円です。

## 11. 授業料

年間授業料 535,800 円

- (1) 現行の金額です。在学中に授業料及び納入方法等の改定が行われた場合は、改定時から適用されます。  
(2) 授業料は、年間2期の分割納入です。納入期限日(当日が金融機関休業日の場合は翌営業日)に口座振替で納入していただきます。

## 1 2. 長期履修学生制度

国際環境工学研究科では、社会人学生の支援として長期履修学生制度を導入しています。長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修する事を認める制度です。博士前期課程においては2年・博士後期課程においては3年を限度とし、1年単位で延長が認められます。

この制度を適用する学生の授業料総額は、標準修業年限で卒業する学生が納める授業料総額と同額です。

## 1 3. 安全保障輸出管理について

北九州市立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「北九州市立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

## 1 4. その他

### 《入学に際しての留意事項》

入学手続後に在留資格が「留学」でない場合は、速やかに法務省入国管理局で在留資格を「留学」に変更してください。なお、在留資格が「留学」でない場合は、留学生に対する各種奨学金の対象にならないことがあります。

## 《授業科目の概要》 2027年4月入学者

※2026年10月入学者は25ページ以降参照

**博士後期課程** 修了に必要な単位は12単位以上

《内訳》

- ・専門科目から6単位以上。(専攻を横断して修得することが可能。共通科目を4単位まで含めることができる)
- ・特別研究科目6単位を修得すること。

### 【各専攻共通科目】

《共通科目》 (各2単位)
環境原論講究
起業家精神とスタートアップ特究
学外高度特別研修(インターンシップ)

### 【環境システム専攻】

《専門科目》 (各2単位)	
化学プロセス特論	環境微生物学特論
材料設計特論	分子細胞生物学特論
環境プロセス特論	生体医工学特論
資源循環特論	環境リスク学特論
資源化学システム特別講義	生物無機化学特論
環境応答生理学特論	原生生物学特論
応用微生物学特論	バイオインフォマティクス特論
高分子物性特論	都市環境マネジメント特論
バイオシミュレーション特論	エネルギー環境工学特論
生体材料特論	環境情報システム特論
生物センサー工学特論	リスクマネジメント特論
生態システム特論	
《特別研究科目》 (6単位)	
特別研究	

## 【環境工学専攻】

《専門科目》 (各2単位)	
熱動力システム特別講義	世代間建築講究
流動制御システム特別講義	都市環境工学講究
設計システム特別講義	建築環境工学講究
システム制御工学特別講義	建築構造学講究
計測システム特別講義	建築構工法講究
環境共生都市づくり講究	環境設備システム講究
居住環境設計学講究	建築材料講究
環境調和型材料工学講究	低炭素建築都市デザイン講究
《特別研究科目》 (6単位)	
特別研究	

## 【情報工学専攻】

《専門科目》 (各2単位)	
適応信号処理特論	ネットワークアーキテクチャ特論
視覚情報処理特論	組込みハードウェア特論
パターン認識応用特論	行動解析特論
画像処理特論	自然言語処理特論
情報通信特論	ソフトウェア特論
組み合わせ最適化特論	感覚測定特論
VLSI 物理設計特論	情報ネットワーク特論
システム制御理論特論	
《特別研究科目》 (6単位)	
特別研究	

## 《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》

希望する研究指導教員については、各コース長にご相談ください。  
コース長のメールアドレスは以下の通りです。

### 《問い合わせ先》

#### ○環境システム専攻

資源化学システムコース	shigen@kitakyu-u.ac.jp
生命工学コース (バイオシステムコース) ※	biosys@kitakyu-u.ac.jp
環境生態システムコース	envsys@kitakyu-u.ac.jp

※バイオシステムコースは、2027年4月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

#### ○環境工学専攻

機械システムコース	kikai@kitakyu-u.ac.jp
建築デザインコース	kenchiku@kitakyu-u.ac.jp

#### ○情報工学専攻

計算機科学コース	jyohou@kitakyu-u.ac.jp
融合システムコース	

## 環境システム専攻

### 【資源化学システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
秋葉 勇 AKIBA Isamu	高分子材料の合成に関する研究 合成高分子の構造と物性に関する研究
今井 裕之 IMAI Hiroyuki	ナノスケールの空間を機能化した材料の開発および化学反応への応用 多様な炭素資源から化学品製造のための反応プロセスの設計
寺嶋 光春 TERASHIMA Mitsuharu	水資源循環利用プロセスの研究開発 用排水処理システムのモデル化とシミュレーション
西浜 章平 NISHIHAMA Syouhei	有価廃棄物からのレアメタルの分離回収プロセス 水中の有害汚染物質の分離除去プロセス
宮脇 崇 MIYAWAKI Takashi	化学物質の網羅的分析手法の開発 化学物質の環境動態及びリスク評価に関する研究
山本 勝俊 YAMAMOTO Katsutoshi	多孔質材料の開発と触媒への応用 有機-無機ハイブリッド型多孔体の創製
李 丞祐 LEE Seung-Woo	機能性ナノ材料、先端計測デバイスの開発 生体低分子・揮発性代謝物に基づいたナノ医療工学

## 【生命工学コース（バイオシステムコース）】

バイオシステムコースは、2027年4月より「生命工学コース」へ名称を変更します。

教員名	研究テーマ・領域
磯田 隆聡 ISODA Takaaki	新しいバイオセンサーの開発と応用：1. 食品衛生のための微生物センサー、2. ウイルス・感染症の迅速検査
河野 智謙 KAWANO Tomonori	環境と生物との相互作用と光合成（天然・人工）をテーマに国際連携・産学連携に取り組んでいます。
木原 隆典 KIHARA Takanori	骨石灰化形成機構の解明 平滑筋細胞の形質転換機構の解明 細胞の物理的性質の解析とそのシミュレーション
中澤 浩二 NAKAZAWA Kohji	細胞パターンニング技術および細胞マイクロチップの開発 培養微小環境と細胞分化特性の解析
望月 慎一 MOCHIZUKI Shinichi	薬物送達システム（DDS）の開発 新規がんワクチンの開発 アジュバントに関する研究
森田 洋 MORITA Hiroshi	地域農作物の生理的機能性と新規用途開発 室内カビ・ダニの新規制御法に関する研究 混合培養麹による清酒醸造に関する研究 液体麹による酒類醸造に関する研究

## 【環境生態システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
加藤 尊秋 KATO Takaaki	環境政策の評価、社会的なリスク削減のための管理、教育、訓練手法
藤山 淳史 FUJIYAMA Atsushi	消費者行動・SDGs 評価に関する研究 エネルギーマネジメントシステムに関する研究 環境分野での情報技術の活用に関する研究
松本 亨 MATSUMOTO Toru	循環型社会形成に向けた都市・社会システムの設計・評価に関する研究 アジアの都市環境マネジメントに関する研究

**環境工学専攻****【機械システムコース】**

教員名	研究テーマ・領域
池田 卓矢 IKEDA Takuya	ネットワーク系の最適化理論およびデータ駆動制御理論に関する研究
井上 浩一 INOUE Koichi	次世代宇宙機用沸騰・二相流熱システムに関する基礎研究 火力原子力発電システム用熱交換器の高性能化に関する研究 パワーエレクトロニクス冷却技術に関する研究
佐々木 卓実 SASAKI Takumi	構造非線形および材料非線形を利用した除振要素に関する研究 機械・構造物のための振動抑制技術の開発
趙 昌熙 CHO Changhee	生体機械工学、バイオトライボロジーに関する研究 臨床用人工関節の長寿命化・高性能化に関する研究
長 弘基 CHO Hiroki	形状記憶合金の物性研究 形状記憶合金を用いたアクチュエータおよび医療・福祉機器の研究開発
仲尾 晋一郎 NAKAO Shinichiro	衝撃波と境界層の干渉流れ場の CFD 解析に関する研究 衝撃波を伴う流れ場へのレーザー干渉法の適用に関する研究
宮里 義昭 MIYAZATO Yoshiaki	超音速流れに対するレーザー干渉法とレインボーシュリーレントモグラフィ計測法の適用に関する研究
村上 洋 MURAKAMI Hiroshi	AX 等の情報技術と先端加工・計測技術の融合による精密加工・計測技術の高度化に関する研究

## 【建築デザインコース】

教員名	研究テーマ・領域
安藤 真太郎 ANDO Shintaro	住環境による疾病予防効果を踏まえた経済効果検証 オフィスのデザインと運用最適化による知的生産性向上効果の検証
城戸 将江 KIDO Masae	鋼およびコンクリート充填鋼管構造の耐震設計法 鋼およびコンクリート充填鋼管構造の安定設計法
白石 靖幸 SHIRAISHI Yasuyuki	建築都市空間における温熱・空気環境制御 建築設備一体化技術の最適制御 複合物理モデリングを活用した建築設備の最適設計
陶山 裕樹 SUYAMA Hiroki	産業廃棄物の建材リサイクル コンクリートの物性に影響を与える粉体混和材の因子 コンクリートの外観の定量化
高巢 幸二 TAKASU Koji	カーボンネガティブクリンカーフリーコンクリートの研究 都市ごみ焼却灰の無害化とジオポリマー活性フィラーとしての利用性に関する研究 バクテリアによる自己治癒型低炭素コンクリートに関する研究 再生材料等を複合混合した高性能コンクリートの研究 建築材料としての副産物系粉体の改質技術の開発
寺西 正輝 TERANISHI Masaki	鋼構造および木質系構造の構造解析 機械学習の構造工学問題への応用 光学技術による力学的特性の評価
デワンカー バート DEWANCKER Bart	都市計画に関する研究 環境共生建築・都市デザインに関する研究 ランドスケープ、都市及び建物緑化に関する研究
福田 展淳 FUKUDA Hiroatsu	建築デザイン、歴史的建築物に関する研究 建築計画学、都市計画学 低環境負荷のための建築設計・都市環境設計
保木 和明 HOKI Kazuaki	鉄筋コンクリート構造 既存建物の耐震性評価法・補強設計法 耐震工学

## 情報工学専攻

### 【計算機科学コース】

教員名	研究テーマ・領域
上原 聡 UEHARA Satoshi	情報理論、符号理論、情報セキュリティ：数学的背景に基づく符号の構成法や性能評価に関する研究
古閑 宏幸 KOGA Hiroyuki	コンピュータネットワークのアーキテクチャや構築・運用技術、トラヒックエンジニアリング技術に関する研究
孫 連明 SUN Lianming	制御と信号処理分野において、数学モデルを構築するシステム同定の方法論、制御系設計と適応信号処理への応用に関する研究
松岡 諒 MATSUOKA Ryo	数理モデリング、人工知能、機械学習、数理最適化を基盤とした、リモートセンシング、画像処理、医用画像解析、コンピュータビジョン、信号処理、データ解析、異常検知に関する研究
山崎 恭 YAMAZAKI Yasushi	生体認証（バイオメトリクス）を主要テーマとした、安心・安全・便利をキーワードとする情報セキュリティ、パターン認識に関する研究開発

### 【融合システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
佐藤 雅之 SATO Masayuki	心理物理学の実験手法を用いた人間の視覚情報処理メカニズムの解明、特に、両眼立体視による空間知覚に関する研究
杉原 真 SUGIHARA Makoto	VLSI や組込システムを対象とした設計技術に関する研究、及び自動車 IT システム設計技術に関する研究
高島 康裕 TAKASHIMA Yasuhiro	最適化アルゴリズム、VLSI 設計自動化技術、量子アルゴリズムを含む高性能計算アルゴリズム実装
中武 繁寿 NAKATAKE Shigetoshi	アナログとデジタル混載集積回路の自動設計技術、低電力化技術、及び医療・防災分野におけるセンサシステムの集積技術に関する研究
西田 健 NISHIDA Takeshi	ロボットの知能化技術、仮想空間と現実空間の連動により AI を高速化する技術、機械学習によるロボット制御技術に関する研究
早見 武人 HAYAMI Takehito	電気・光を用いた神経機能に関わる医用検査、手術支援、治療技術、及び人間の行動特性を調べるための心理学機器の研究
藤澤 隆介 FUJISAWA Ryusuke	群知能および群ロボットの制御に関する研究 生物の外界認識機能に関する研究 機械学習を用いた識別に関する研究

# 《アドミッションポリシー》 2026年10月入学者

## ●環境システム専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
資源化学システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に関心を持ち、化学・環境技術者・研究者として世界をリードすることを目指している人</li> <li>○革新的な新技術や新たな理論を開発・構築することを目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高度な化学・環境工学を研究する上で十分な知識を有している。</li> <li>○エネルギー・環境・資源に関する諸問題を解決するための明確なビジョンを有している。</li> <li>○高度な学術論文の執筆や専門家と討議するための十分な語学力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題の本質を見抜き、その重要度・緊急性に応じて、高度な見地から解決策を講じる優先順位を判断する力を身につけている。</li> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題への解決策を、高度な見地から、論理的に複数の可能性を考慮した上で導き、それを他者に明確に伝える力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に強い関心を持ち、多角的・総合的な視点とともに主体的に研究する意欲と周囲を導く行動力を持っている。</li> <li>○自己の専門・非専門を問わず、他者との協議・討論を通して課題解決の手法を複数見出し、協働を通して課題解決に導く力を身につけている。</li> </ul>
バイオシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○化学と生物学を基盤とした、環境・生命・医療などに関する専門的かつ創造的・実践的知識の習得を目指している人</li> <li>○環境・生命・医療などの分野における国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた科学者、研究者、教育者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境、社会や生態系に配慮しながら技術開発を進める専門的知識・技能を有し、それを洗練させる上で重要な幅広い知識も習得している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境・生命・医療などの分野における様々な問題の本質を見抜く思考・判断力を有し、さらに研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する能力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境・生命・医療などの分野における諸問題に対して、国内外の研究者との積極的な議論を通して、課題解決を図る姿勢を有している。</li> </ul>
環境生態システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域やアジア諸国をはじめとする発展途上国における環境社会システム構築のために活躍できる研究者および教育者を目指している人</li> <li>○持続可能な社会構築のためより高度な専門的知識の習得を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境調査、環境計画、生態系管理の基礎となる自然科学および数理分野の専門的学力を有し、環境社会や自然共生社会の発展をリードできる創造的・実践的知識の素養を持っている。</li> <li>○社会・環境フィールド調査、環境シミュレーション、環境マネジメントに関わる専門的スキル・手法を使って、自立して問題を解決する能力の素養を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現実の環境問題に柔軟に対応し、国際環境社会の中で広い視野をもって高度な学術研究の立場から問題に対処できる思考力と判断力の素養を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題に関わる資源、エネルギー、自然生態系、経済、経営などの分野にも広い関心を持ち、高度な見地から先端的研究を実践する素養を持っている。</li> <li>○学会や企業、行政など関係する機関と協力して先進的、国際的な環境問題の解決に自律的に取り組む素養を持っている。</li> </ul>

●環境工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
機械システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えたとともに、高度な機械システム技術を活用しながら、国際的・学際的に活躍できる研究者および教育者を目指している人</li> <li>○機械工学に関する高度な専門性を活用する努力をいとわない人</li> <li>○創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学分野の専門的な知識および技術を修得しており、より高度な専門性を身につけるための学力と適性を有している。</li> <li>○機械研究者・教育者に必要な基本的な教養と倫理観を身につけている。</li> <li>○日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学の課題を高度な見地から論理的に思考、判断して解決するための能力を持ち、自分の考えや課題の検討結果などを他者に的確に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学に関する課題に対し、高度な見地から主体性を持って多様な人々と協働して取り組むことができる。</li> </ul>
建築デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未来へ繋がる建築を実現できる高度な専門知識と国際的な場で活躍できる高い能力の習得を目指している人</li> <li>○技術の分かるデザイナー、デザインの分かる高度専門職業人および特に研究者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として理解し、総合的な視点から建築学の本質を理解し、その高度専門知識を持っている。</li> <li>○建築を安全にする能力、快適な空間を提供する能力、芸術性を表現する能力、クライアントに自分の提案を表現する能力等、高度建築技術者に必要な種々の能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築学における社会的事象に対して国際的視点から課題を抽出して、その解決のための自らの思考・判断のプロセスを説明し、それを学会、国際会議、修士論文発表を通して研究発表できる能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や組織の中で他者と協力して計画的にプロジェクトをまとめ、修士論文、作品などを完成させる能力を有すると共に、環境との調和を考慮して、技術者の倫理観に基づく問題解決の意欲、態度を持っている。</li> </ul>

## ●情報工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
計算機科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計算機科学、特に、人工知能、映像・画像処理、ネットワーク、情報セキュリティ、モデリングに関する高度な専門知識と技能の活用を目指している人</li> <li>○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた指導的な研究者および教育者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報系工学に関する総合的な専門知識を有し、計算機科学、特に、情報通信、情報処理、情報セキュリティ、ソフトウェアに関する専門知識を有している。</li> <li>○情報化社会の要請に応じ、計算機科学の応用分野であるネットワーク、映像・画像処理の主要なシステムを設計し、実装する技能を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計算機科学分野の課題について、解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、これらの過程を学術論文としてまとめて発表する能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計算機科学分野において、地域社会や組織の中で他者と効果的なコミュニケーションをとり、社会的責任感と倫理観に基づき、自律的に問題解決に取り組む行動力を持っている。</li> </ul>
融合システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電子・集積回路、計測制御、ソフトウェア、また、これらの融合系であるロボット、生体情報システムに関する高度な専門知識と技能の活用を目指している人</li> <li>○国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた指導的な研究者および教育者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報系工学に関する総合的な専門知識を有し、電子・集積回路、計測制御、ソフトウェア、また、これらを融合したシステムに関する専門知識を有している。</li> <li>○情報化社会の要請に応じ、電子・情報・計測制御の融合分野であるロボット、生体情報システムの主要なシステムを設計し、実装する技能を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電子・情報・計測制御工学の融合分野の課題について、解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、これらの過程を学術論文としてまとめて発表する能力を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電子・情報・計測制御工学の融合分野において、地域社会や組織の中で他者と効果的なコミュニケーションをとり、社会的責任感と倫理観に基づき、自律的に問題解決に取り組む行動力を持っている。</li> </ul>

## 《授業科目の概要》 2026年10月入学者

**博士後期課程** 修了に必要な単位は12単位以上

《内訳》

- ・専門科目から6単位以上修得すること。(専攻を横断して修得することが可能)
- ・特別研究科目6単位を修得すること。

### 【環境システム専攻】

《専門科目》 (各2単位)	
エネルギー化学特論	資源化学システム特別講義
化学反応工学特論	環境応答生理学特論
無機材料工学特論	微生物機能学特論
触媒反応化学特論	生物物理特論
分光分析特論	計算化学特論
分離精製工学特論	生体材料特論
固体材料化学特論	生物センサー工学特論
プロセス設計学特論	生態システム特論
先端材料システム特論	環境生物学特論
高分子材料化学特論	分子細胞生物学特論
環境化学特論	都市環境マネジメント特論
大気環境工学特論	エネルギー環境工学特論
資源循環技術特論	環境経営戦略特論
水圏環境工学特論	環境情報システム特論
地圏環境修復特論	健康リスク学特論
リサイクル工学特論	環境原論講究
省資源衛生工学特論	起業家精神とスタートアップ特究
アジアの環境問題特論	
《特別研究科目》 (6単位)	
特別研究	

### 【環境工学専攻】

《専門科目》 (各2単位)	
熱動力システム特別講義	世代間建築講究
流動制御システム特別講義	都市環境工学講究
設計システム特別講義	建築環境工学講究
システム制御工学特別講義	建築構造学講究
計測システム特別講義	建築構工法講究
環境共生都市づくり講究	環境設備システム講究
居住環境設計学講究	建築材料講究
環境調和型材料工学講究	低炭素建築都市デザイン講究
《特別研究科目》 (6単位)	
特別研究	

## 【情報工学専攻】

《専門科目》（各2単位）	
適応信号処理特論	VLSI 物理設計特論
視覚情報処理特論	システム制御理論特論
パターン認識応用特論	ネットワークアーキテクチャ特論
情報セキュリティ特論	医用工学応用
画像処理特論	組込みハードウェア特論
移動通信特論	機械学習特論
情報通信特論	行動解析特論
組み合わせ最適化特論	
《特別研究科目》（6単位）	
特別研究	

2026年度 10月入学・2027年度4月入学  
北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科(博士後期課程)

受験番号 Examinee No.	(記入不可 / Do not fill in)
----------------------	-------------------------

October 2026 Enrollment / April 2027 Enrollment

Graduate School of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu, Doctoral Program

## 研究領域等希望調査書 / Research Plan Survey

フリガナ / Furigana	
氏名 Name	
志望専攻 / Program	
志望コース / Course	

「本大学院で研究しようとする分野」および「希望する研究指導教員」を記入してください。  
(必ず事前に、各コースのメールアドレスに問い合わせてください。)

State the "Research area you would like to study" and "Name of the research and education supervisor" in the faculty by whom you would like to be instructed after enrollment".

You must contact the faculty member you would like to have as your research supervisor before applying.

本大学院で研究しようとする分野 Research area you would like to study	
希望する研究指導教員名 Name of the research and education supervisor	

大学または大学院等で専攻した分野について記入してください。

State your current research field at university or graduate school.

大学または大学院等でのゼミまたは専攻した専門分野等 Your current Research field at University or Graduate School	
指導教員名 Instructor's name	

(社会人特別選抜志願者は裏面も記入してください。)

(Write in the back if you apply for the Special Selection for People in Employment.)

《注意 / Notice》

別紙にて入学希望理由書を作成し、提出してください。

A4 1枚程度、様式自由。必ず志望専攻・コース名を記入してください。

Write your reasons for applying on one sheet of A4 size paper, free form.

Make sure to fill out your name, and the name of the graduate program and course you would like to take.



出願資格審査申請書  
Screening of Qualifications for Applying Application

申請日 Application Date 年 Year: 月 Month: 日 Day:

2026 年度10月入学・2027年度4月入学 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科(博士後期課程)  
October 2026 Enrollment / April 2027 Enrollment : Graduate School of Environmental Engineering,  
The University of Kitakyushu, Doctoral Program

入学時期 Enrollment Period	<input type="checkbox"/> 4月 April <input type="checkbox"/> 10月 October	審査受付期限 Deadline for Screening Applications	2026年6月18日(木) June 18 (Thu), 2026
選抜区分 Selection Division	<input type="checkbox"/> 一般選抜 General Selection	<input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 Special Selection for People in Employment	
フリガナ/Furigana *1			性別 Gender
氏名 Name *2	姓 / Family name, Middle name	名 / First name	<input type="checkbox"/> 男性 Male <input type="checkbox"/> 女性 Female
英字氏名(外国籍の方はパスポートのアルファベット表記) Name (alphabetic notation as in the passport)			写真貼付欄 Glue Photo here 1. 4cm×3cm 2. 上半身、無帽、背景なし、正面向き Upper body, no hat, no background, looking straight 3. 最近3ヶ月以内に撮影されたもの Taken within 3 months 4. 写真の裏に氏名を記入し全面にのりづけ Write your name on the back of the photo and glue it here.
生年月日(西暦) / Birth Day :	※外国籍のみ 国・地域 / Nationality ※Only for International Applicants		
年 Year 月 Month 日 Day			
入学時年齢 Age (As of the date of Enrollment)	歳		
住所・連絡先 / Contact ※海外在住の方の書類は全てこの住所に送付されます。送付先が異なる場合は必ずお知らせください。 All documents for applicants residing outside Japan will be sent to this address. If there are any changes inform us.			
郵便番号 / Postal Code			
住所 Address			
電話番号 / Tel	携帯電話番号 / Mobile		
メールアドレス / E-mail	@		

\*1 外国籍の方は、使用中のフリガナがあれば記入してください。 Japanese pronunciation should be written in Katakana characters if you know.

\*2 外国籍の方は、漢字氏名があれば記入してください。 Write your name in Chinese characters if you have.

志望する専攻・コースを選択してください。 Select a Program and a Course you want to enroll in.

<input type="checkbox"/> 環境システム専攻 / Graduate Program in Environmental Systems
<input type="checkbox"/> 資源化学システムコース / Resources and Chemical Systems
<input type="checkbox"/> 生命工学コース(バイオシステムコース) / Life Science and Biotechnology (Biosystems)
<input type="checkbox"/> 環境生態システムコース / Environmental and Ecological Systems
<input type="checkbox"/> 環境工学専攻 / Graduate Program in Environmental Engineering
<input type="checkbox"/> 機械システムコース / Mechanical Systems Engineering
<input type="checkbox"/> 建築デザインコース / Architecture
<input type="checkbox"/> 情報工学専攻 / Graduate Program in Information Engineering
<input type="checkbox"/> 計算機科学コース / Computer Science
<input type="checkbox"/> 融合システムコース / Applied Information Systems

履歴書 / Personal Resume			
年 月 Year / Month		年数 Number of Years	経歴等(学歴・職歴・研究歴等について記入してください。) Academic records, Employment records, Research History, etc.
自 From	/		小学校名(初等教育) / Name of Elementary School (Primary Education) ※外国人留学生のみ記入 / Fill in Only for International Applicants
至 To	/		
自 From	/		中学校名(中等教育) / Name of Junior High School (Secondary Education) ※外国人留学生のみ記入 / Fill in Only for International Applicants
至 To	/		
自 From	/		高等学校名(中等教育) / Name of High School (Secondary Education)
至 To	/		
自 From	/		大学・学部・学科・専攻名等(高等教育) / Name of University, Faculty, Department, Major (Higher Education)
至 To	/		
自 From	/		大学・学部・学科・専攻名等(高等教育) / Name of University, Faculty, Department, Major (Higher Education)
至 To	/		
自 From	/		大学院・研究科・専攻名等(高等教育) / Name of Graduate School, Programs (Higher Education)
至 To	/		
自 From	/		大学院・研究科・専攻名等(高等教育) / Name of Graduate School, Programs (Higher Education)
至 To	/		
自 From	/		
至 To	/		
自 From	/		
至 To	/		

○ 研究成果・報告書・公的資格などこれからの研究の参考となる経歴について記入してください。  
Reserch results, reports, official certifications, etc. that might serve as reference for the future studies.

年 月 Year / Month	タイトル Title	備考(論文の概要・認定機関名等) Abstracts of research papers, Name of accreditation organization
/		
/		
/		
/		
/		